

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第35回 2021年4月)



以前紹介した食いしん防の伯父。通夜の席でグルメ大論争を繰り広げた（わしは何を食べても美味しい。だからわしはグルメだ！）あの伯父である。あれを書いたころはお元気だったのに、その後体調を崩され、先月亡くなられてしまった。娘さん（わが聡明なる従妹）にその記事を読んでもらって、喜んでいと聞いていたのだが……

追悼の意を込めて、伯父の思い出をもう少し書かせていただく。伯父の通夜で、わが聡明なる従妹はこうあいさつした。

「娘の私が言うのもなんですが、父はなかなかの人物でした」

そして披露されたエピソードは、例のグルメ論争ではなく、別の場でのこと。そこでは「早く死ぬのと長生きするのはどちらが幸せか」という論争が起こったらしい。黙って聞いていた伯父が放った一言が、論争に決着をつけた。

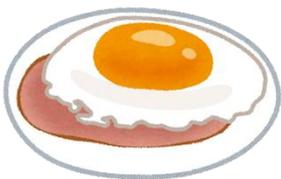
「人は食べれる時は食べて、生きれる間は生きるだけよ」

うーむ、人生を長く生きてきた者のみが持つ重みに満ちた名言だ。あの伯父にこんなまともなことが言えたとは驚き……いやいや、さすが伯父さま！ 食いしん防の結婚式で親族代表になってもらったのは正解だった。

実は伯父にはたいへん世話になっている。今でこそお気楽極楽で過ごしているが、かつては食いしん防にも悩み多き時代があった。そんないちばん苦しかったころにあたたかい援助をしてくれたのが、この伯父だった。何をしてくれたか。お中元とお歳暮に、ハムの詰め合わせを送ってくれたのだ。



さて、皆さんはどうしてますか。いただき物のハムの詰め合わせ。あ、誰ですか、よそに回したなんて言ってるのは。もったいない。めったに口にすることのできないご馳走を味わえるチャンスなのですぞ。



ふだん食べるハムって、最初から薄〜く切って売ってますよね。よくここまで薄く切れるなと感心するほどぺらっぺら。あれだけ薄いと肉の味なんてほとんどしない。ただ塩っ辛いだけ。ハムサンドにしても主役というには存在感なさすぎ。ハムエッグも卵の単なる座布団と化している。

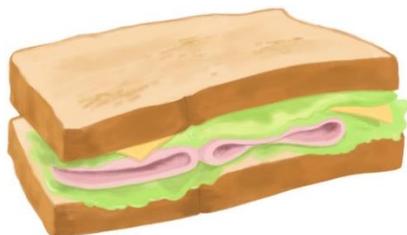
個々人の好みはあるにしても、食べ物にはそれぞれに適した太さ・分厚さがある。トマトソースで食べるスパゲッティは太さ 1.4mm（乾麺時）くらいのものがもっとも美味しい。トーストにするパンは4枚切りがベスト。他には、とんかつの豚肉や握り寿司のネタなどにも、最適の厚さがある。

食いしん防の考えるハムの最適値は、厚さ7mm 前後だ。いただき物のハムをまな板に載せ、おおよその分量で切る。6枚切りの食パン（耳付き）にスライスチーズ、7mm ハム、レタスを載せ、マスタードとマヨネーズをたっぷりかけ、もう1枚のパン

で挟む。リアル・ハムサンドの誕生だ。三角形に切り分けたりせず、そのまま大口を開けてかぶりつく！

ああなんという美味さ。人として生まれてこの味を知らずにいるのは大損失だ。悩みも吹っ飛ばす至福の時間が過ごせること請け合い。さあ、皆さんもハムの詰め合わせをもらったらお試しあれ！

これでは薄すぎる→



これくらい！→



TOPICS

☆東近江市「防災リーダー養成講座・特別編」

市が毎年開催している「防災リーダー養成講座」。今年度はコロナのために中止か……と思いきや、年度末のこの時期に開催。特別編と題して、かつての受講生に招待状が届けられた。かくいう食いしん防も、数年前に受けたことがあったのだ。ということで、半日の研修に参加してきた。

まずは「最大規模の降雨を想定した洪水浸水想定区域について」のレクチャー。洪水被害の想定が、これまでの「100年に1度の大雨」から「1,000年に1度の大雨」に変更されたことに伴う水害ハザードマップの更新について説明があった。うーむ、ひょっとして水没区域がこれまでより広がっているのだろうか。1,000年に1度の大雨というと、ノアが箱舟を作った時クラスの洪水なんだろうか。新しいハザードマップがいつもらえるのかわからないが、チェックしなければ！

続いて「コロナ禍での避難について」については、当欄でこれまでも書いてきたように、「危険を避けるための避難をためらうべからず！」ということに尽きる。コロナを用心して災害被害に遭ったら身も蓋もない。マスク着用などの対策をしっかりとして、避難をしましょう。

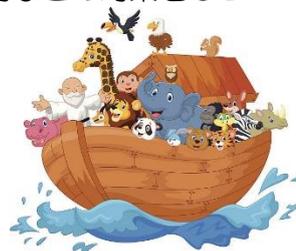
今回は最後までしっかり目を開けてた食いしん防でした。

☆忘却の彼方よりよみがえりし……

先々月に八日市文芸会館で開催された令和2年度「防災・減災のつどい」、参加した食いしん防は、不覚にも肝心のところで寝落ちしてしまった……というのが前回のあらすじ。

同じ会場に居合わせた知り合いに、恥を忍んで訊いてみた。相手は「しょーがねーやっちゃん」という目で食いしん防を見ながら、それでも親切に教えてくれた。

「少子高齢化が進み、20年後には東近江市の約3分の1が独居高齢者の世帯になる。そんな現実を踏まえて、どのような防災減災活動をしていけばいいのか？」



という問いかけに対する答えとは……

「防災と見守り活動は共通したところが多い。だからふだんの近所付き合いや自治会活動などをしっかりやることで、防災減災につながる」



ZZZ え、それだけ？ 食いしん防が重ねて確認すると、「……うん、確かそうだったと思う」と相手は急に弱気になった。ははあ、さてはおぬしもウトウトしていたな……。でもとりあえずありがとう。次からはちゃんと起きて……いたいと思う。いやホンマに。

今後の活動予定

4月8日 「いこいこ広場」で防災カードゲーム大会開催

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



● 勝手にQ&Aコーナー

Q：高齢者ばかりになったら、防災のことがマジで心配です。どうすればいいのかわかることを教えてください。

A：あっ、あなたもあの解答を信用してないな!? まあ確かにあれじゃ合点承知の助とはいかないよね。食いしん防としては、将来的に自主防災は、自治会単位ではなく、避難所単位で行うべきと考えています。その理念で結成されたのがこと防だ！

Q：伯父さまの追悼だなんてしおらしいこと言いながら、結局は食べ物のお話になってるじゃないですか！

A：だってあのハムサンドの味を思い出しちゃうんだもん。伯父さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

